

# 式辞

4月に入り、校舎南側の同窓苑や明石公園の桜もきれいに咲きそろい、春の息吹が感じられる今日の良き日に、ご来賓の皆様、保護者皆様の御臨席を賜り、明石市立錦城中学校、第75回入学式をこのように盛大に挙行できますことは、本校教職員の喜びとするところでございます。

高いところからではございますが、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。70名の新入生の皆さん、入学おめでとう。今日から皆さんは錦城中学校の一員です。3月20日、小学校で担任の先生から一人ずつ名前を呼ばれ、校長先生から卒業証書を手渡されました。その日から2週間と少し。春休みを楽しむことが出来ましたか。

今日は、中学校の先生から一人ひとり、名前を呼ばれ「はい」と返事をしたみなさんの声に、「今日から錦城中学校で頑張るぞ」という意気込みと心強さを感じました。今、君たちの心の中がもし見えるとしたら、「不安」もあるでしょうが、「夢」や「希望」がいっぱいに満ちあふれているのではないのでしょうか。

さて、ここで皆さんに名前にちなんだ一編の詩を紹介します。  
新川和江さんの「名づけられた葉」という詩です。

ポプラの木には ポプラの葉  
何千何万芽をふいて  
緑の小さな手をひろげ  
いっしんにひらひらさせても  
ひとつひとつのてのひらに  
載せられる名はみな同じ  
わたしも  
いちまいの葉にすぎないけれど  
あつい血の樹液をもつ  
にんげんの歴史の幹から分かれた小枝に  
不安げにしがみついた  
おさない葉っぱにすぎないけれど  
わたしは呼ばれる  
わたしだけの名で 朝に夕に  
だからわたし 考えなければならない

誰のまねでもない  
葉脈の走らせ方を 刻みの入れ方を  
せいっぱい緑をかがやかせて  
うつくしく散る法を  
名づけられた葉なのだから  
考えなければならない  
どんなに風がつよくとも

これまで幼稚園や保育所、小学校で様々な場面で名前を呼ばれてきたことでしょう。今日からは中学生として名前を呼ばれます。新しいクラス、新しい先生との出会い、部活動の仲間や先輩との出会いの中で、毎日名前が呼ばれることでしょう。その時々にはしっかりと返事ができ、自信を持って進んでいってほしいと思います。

あわせて、校訓の「自主・創造・信頼・協調」の四つの言葉を大切に、仲間とともに、先輩とともに、そして先生たちとともに、素晴らしい錦城中を創っていきましょう。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうでございます。今日から三年間、本校で大事なお子様をお預かりいたします。

中学生時代は、生徒一人ひとりが自分自身を理解し、いかに生きるかという人生設計の基礎を築く、かけがえのない時期です。教職員一同、力の限り、お子様のすこやかな成長と夢の実現に向けてがんばる所存です。成長盛りで多感な時期を迎えるわけですから、いろいろな出来事があると思います。その時々が一番大切なことは、保護者の皆様と私たち教職員の心が一つになっていることだと思います。ご家庭で、学校で、お子さんの「名」をしっかりと呼び続けて励まし、支えていきましょう。

子どもたちの教育は、関係の幼稚園、小学校は申し上げるまでもなく、家庭や地域、中学校とのより緊密な連携・協力があってこそ初めて成果の上がるものと考えます。今後とも、より一層変わらぬ御支援・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。

2019年（平成31年）4月9日  
明石市立錦城中校長 永田 浩史